

令和7年度町政懇談会事前質問（小島自治会）

	意見・要望・質問	担当課	回答
1	<p>○世帯数・人口動態予測に関すること</p> <p>2024年の全国の人口動態については、過去最大の減少数、減少率となり、この傾向は小島地区においてさらに顕著であろうことは容易に推測される。特に地域活動（各行政区活動や共同作業、地域行事等）においてマンパワーの不足は否めず、コミュニティの維持やこれまで実施してきたことの継続が困難な場面が増加している。</p> <p>このような状況のなか、今後の地域振興のためにも世帯並びに人口動態を把握することは重要。川俣町で人口動態予測があれば示してほしい。</p> <p>人口動態予測に基づく振興策、活性化策を策定していれば示してほしい。</p>	政策推進	<p>第6次川俣町振興計画策定時に将来人口の見通しを策定しています。それによると、令和22年の町内人口は8,332人であり、人口を維持するための各種施策を推進することにより9,000人程度で維持することを目指しています。しかし、状況はさらに厳しくなっていると捉えているところです。さらに効果的な施策を考えていく必要があります。</p>
2	<p>○安全な生活環境確保に関すること</p> <p>温暖化により10年に一度といわれる集中豪雨や線状降水帯が毎年どこかで発生し、甚大な被害が生じている。被害防止のためにも河川の計画的な土砂ばきが必要。</p>	建設水道	<p>広瀬川の土砂ばきにつきましては、河川管理者になります県に要望しております。なお、県から今年度は小島字犬石地内の土砂ばきを実施するとの回答を伺っておりますが、引き続き継続的な実施を要望してまいります。</p>
	<p>擣野～田代線にある長寿泉は小島地区のシンボルとしてその周辺を地区で整備管理を行っているが、舗装の損傷やコンクリートの擁壁に空洞が生じているなど、安全に大きな危惧が生じている。交通量も一定程度あることから、点検のうえ修繕をお願いしたい。</p>	建設水道	<p>ご要望ありました道路の点検及び修繕につきましては、現地の状況を確認し安全確保の観点から必要な対応を実施しております。</p> <p>ただし、損傷の程度や修繕の緊急性などを踏まえて優先順位をつけて対応しております。</p> <p>今後とも、道路の安全利用のため、異常などを発見された際にはお知らせいただくようお願いいたします。</p>
3	<p>○住環境整備に関すること</p> <p>畑で野菜を作っているが猿による被害が発生している。ロケット花火では被害が防げない。有効な対策を検討してほしい。</p>	農林振興	<p>ニホンザルに関しては、ワイヤーメッシュ柵及び電気柵の購入に係る費用の半額（上限30万円）を補助する事業を実施しております。また、専門の民間業者に委託し、ニホンザルの効果的捕獲も行っており、令和7</p>

			<p>年度においては、小綱木B群 15 頭を捕獲し、また、今年度中に飯坂群の捕獲に向けた準備を進めているところです。</p> <p>ロケット花火での追い払いは繰り返し行うことが大切です。その場で撃った後、林縁部やその奥まで最低でも 2 回は追跡してロケット花火を撃つことで大幅に出現頻度を下げることができます。</p> <p>今年度も、専門的知識を有した支援員による指導も行っておりますので、町にご相談ください。</p>
	<p>高齢化に伴う空き家が増加傾向にある。町として「田舎暮らし」を希望する人などへの情報提供などの仕組みをこれまで以上に制度化して取り組んでほしい。</p>	政策推進	<p>空き家情報に加え、求人や支援金など情報発信にはつとめてきたところですが、引き続き、情報の充実につとめてまいります。</p>
4	<p>○基幹産業（農林業）の振興</p> <p>米作農家の高齢化と後継者不足による休耕田が増加し、荒れ地となっていくことが予想される。この対策の一環として、零細農家の共同作業化や会社経営などの組織化への変換、または、米以外の作物への転換などで成功している事例の視察研修など、町がリーダーシップをとって進めていくよう検討してほしい。</p>	農林振興	<p>町農業の中心的担い手で組織する認定農業者会において、令和 6 年度に集落営農組織の視察研修を実施したほか、町農業委員会においては、農業機械の自動運転やドローン等を取り入れたスマート農業の先進地を視察しております。小島自治会の農業者を対象とした視察研修も実施可能ですので、ご要望があればお申し入れください。</p>
5	<p>○伝統・文化に関すること</p> <p>小島地区ではかつて「小島民族の会」が農具や民具、書籍及び戦時品等を展示して地区の伝統・文化を守る取り組みをしてきた。しかし、世代交代による価値観の変化や住宅事情等により、歴史的に貴重な物品が処分されていることも想定され、今後の維持管理に懸念がある。</p> <p>町において遊休施設等を活用した収蔵保管を検討してほしい。（先行事例：只見町）</p>	生涯学習	<p>現在町では遺物や民具を旧小神小学校の体育館で保存していますが、収蔵数の増加や十分な保存環境が確保できていない状況です。</p> <p>今後、小島地区に限らず、町全体でよりよい環境の収蔵環境を模索していく必要性を感じています。</p> <p>歴史的に重要であると思われるものがあれば個別にご相談ください。</p>

	<p>町内のお祭りなどの無形文化財を後世に引き継ぎ残していくために、各地区への補助金交付などを考慮してほしい。</p>	<p>生涯学習</p>	<p>現時点では文化財保護の観点より町指定の無形文化財にのみ補助金を交付しております。</p> <p>各地域の伝統芸能の継承につきましては、まずは現状を把握することに努めたいと思います。</p>
--	---	-------------	---